

授業科目	臨床心理査定演習 I		担当教員	古賀 靖之・平川 忠敏	
展開方法	講義	単位数	2単位 必修	開設時期	1年次 前期
<b>【授業目標】</b>					
<p>本演習 I では、心理査定について理解を深め、心理臨床実践活動において十分に活用できるようになることを目的とする。まず最初に、心理査定に関して倫理の問題も加えながら概説を行う。次に臨床心理査定のための代表的な心理検査について解説し、それらの検査の実施方法、結果の整理方法、解釈の基本的な考え方、所見の書き方などについて、学生同士で演習を行い学習を深める。</p>					
<b>【授業方法】</b>					
<p>講義と演習形式によって、受講生同士による心理検査器具を使用しての学習を行う。</p>					
<b>【授業計画】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理査定とは（行動観察法、面接法、心理検査・調査法等）</li> <li>2. 心理査定における倫理について</li> <li>3. 性格検査法（質問紙法①） Y-G 性格検査法の実施（演習）</li> <li>4. Y-G 性格検査法の結果の整理、分析・解釈、所見について</li> <li>5. 性格検査法（質問紙法②） エゴグラムの実施（演習）</li> <li>6. エゴグラムの結果の整理、分析・解釈、所見について</li> <li>7. 性格検査法（質問紙法③） MMPI の実施（演習）</li> <li>8. MMPI の結果の整理、分析・解釈、所見について</li> <li>9. 発達検査法① 遠城寺式乳幼児分析的発達検査（演習）</li> <li>10. 発達検査法② 津守・稲毛式乳幼児発達診断法（0歳～3歳まで）</li> <li>11. 津守・磯部式乳幼児発達診断法（3歳～7歳まで）</li> <li>12. PARS（広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度）および PEP III について</li> <li>13. CMI（コーネルメディカルインデックス）について（演習）</li> <li>14. 知能検査① 田中・ビネー式知能検査法の実施（演習）</li> <li>15. 田中・ビネー式知能検査法の結果の整理、分析・解釈、所見について</li> </ol>					
<b>【評価方法】</b>					
<p>受講生の演習への取り組み、各心理検査の結果の整理、分析・解釈、所見等に関するレポート提出、修得の程度によって評価する。</p>					
<b>【教科書・参考書】</b>					
<p>教科書 授業の中で、随時紹介する。</p>					
<b>【学生に期待すること】</b>					
<p>受講生の積極的な取り組みを期待する。</p> <p>シラバスを参考にして講義内容に関する事項および参考文献などを調べておくこと。また、講義の後、授業内容を吟味し、更に関連する文献を検索し、検討する。</p>					